1 安心・安全の提供

耐震補強

不動産取得時に建物診断および地震リスク診断を実施。保有不動産においても耐震基準の改定があった場合などに地震リスクを算定するなど、耐震補強に関する丁寧なチェック確認を行っています。

災害時に電力を供給する非常用発電機
（大崎ウィズタワー）

防災設備・備品などの整備

近年、甚大な被害をもたらしている台風や地震などの自然災害に備え、テナントさまが安心・安全に過ごすことができる設備をオフィスビル等に設置・導入しています。
また「BAUS」シリーズでは、標準備品として引き渡し時に各住戸へ防災グッズや非常食を封入した「BAUS防災リュック」を配布。併せて、入居後の家族構成の変化に応じて入居者さまに優先・優待価格で防災備蓄品を追加購入できるサービスも導入しています。また、河川付近に立地する「バウス一之江」では、水害対策として素早く設置できる脱着式止水板を設置した一方で、内水対策として高さ約1mの鉄筋コンクリート立ち上がり壁を設置する等の対策も行っています。

止水板

防災訓練と災害発生時の対応

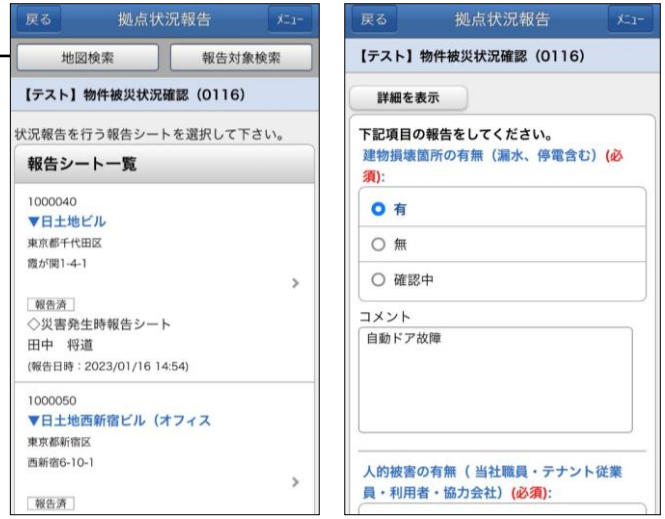
中央日土地レジデンシャルサービスが管理する住宅、中央日土地ビルマネジメントが管理のオフィスビルでは、災害発生時に備えて消防訓練を定期的に実施しています。通報・避難訓練、初期消火訓練、AEDによる応急救護訓練などの活動により防災や防火意識を高め、自助・共助・公助のアクションを確認できる場を提供しています。
また、「バウス川口新井宿」では、住民同士のコミュニティ形成により災害時の共助を促進しており、防災への取り組みについて住民の皆さまから高評価をいただいています。

防災訓練の様子

1 安心・安全の提供

被災情報収集の効率化

中央日土地ビルマネジメントが管理する一部のオフィスビルでは、 BCP関連システムを導入し、災害発生時に効率的に精緻な被災情報を収集しています。実際に2023年および2024年に発生した台風や地震等の災害時においても活用し、タイムリーな情報収集と、迅速で効果的な初動対応（の検討）に役立てています。



BCP関連システム 操作画面
担当者は、スマートフォンから
被災状況を入力する

災害発生時の帰宅困難者支援と備蓄の完備

「京橋エドグラン」は東京都中央区における帰宅困難者一時滞在施設に登録されており、災害時には最大2,425名分を収容するための備蓄品を完備しています。また、災害対応マニュアルなどを定期的に見直し、社内訓練を通じて災害発生時の対応に備えています。

帰宅困難者支援訓練風景（京橋エドグラン）